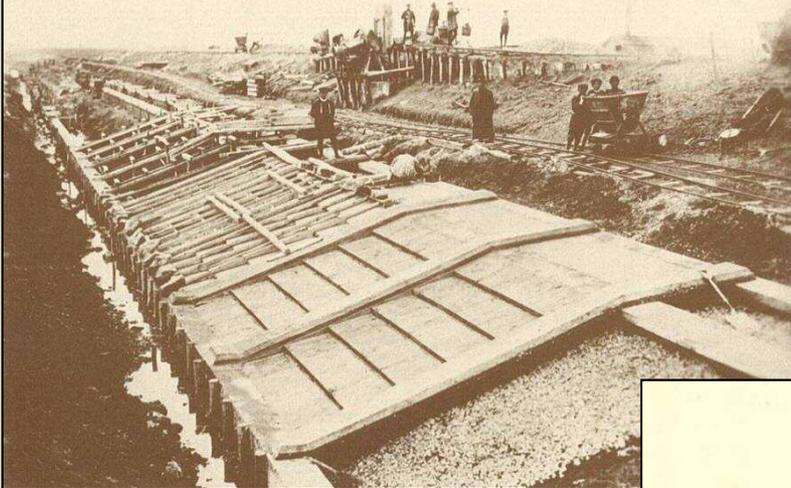


# い～な E-naだより

国土交通省関東地方整備局  
江戸川河川事務所発行  
電話04(7125)7311  
2015年9月29日【第4号】

## お知らせ 江戸川改修100周年シンポジウム

江戸川放水路護岸工事（大正10年）



江戸川河川事務所は、河川改修に着手してから、平成27年で100周年となりました。

江戸川改修100周年シンポジウムとして『江戸川改修の歴史』と『先導的な河川技術』の講演を行います。また、大正3年の事務所開設から現在までの江戸川改修に関する写真や資料などの展示も行います。

### プログラム 14:00～16:30

- ・江戸川改修促進期成同盟会会長 挨拶  
野田市 市長 根本 崇 氏
- ・講演1「江戸川改修の歴史(仮)」  
一般財団法人  
渡良瀬遊水池アクリメーション振興財団  
専務理事 白井 勝二 氏
- ・講演2「江戸川流頭部の技術検討(仮)」  
中央大学研究開発機構  
教授 福岡 捷二 氏



江戸川水閘門建設工事（昭和12年）

日時

平成27年11月19日（木）13:00～17:00

参加費無料

場所

ホテル グランボワ  
〒278-0026 千葉県野田市花井1-1-2  
Tel 04-7121-1122 <http://hotelgranbois.com>

会場案内図



講演会

プログラム参照 ※会場対応人数の上限数を超えた場合は、  
入場できない場合もございますのでご了承ください。

展示

江戸川改修に関する「パネル」の展示や、  
「記録写真のスライドショー」の放映等を行います。

会場への  
アクセス

アーバンパークライン野田市駅より徒歩約20分  
野田市駅よりホテル無料シャトルバス運行

100周年URL

10月中旬頃開設予定です。

お問い合わせ

関東地方整備局 江戸川河川事務所 計画課  
100周年シンポジウム担当 04-7125-7318

【主催 江戸川河川事務所  
共催 江戸川改修促進期成同盟会】

おおわだ はいすいひかん  
**大和田排水樋管の新設工事を進めています。**  
 ～ 江戸川の堤防を掘削して工事 ～

千葉県市川市の市川南地区では、都市化の進展に伴い雨水が地面に浸透しにくくなったことや集中豪雨の増加などにより、浸水被害が発生することが多くなりました。

このため、新たに大和田ポンプ場及び大和田排水樋管を整備し、浸水被害の軽減を図ります。

大和田排水樋管の新設工事は、平成27年1月に着手し、平成28年3月末の完成を目指し工事を進めています。（ポンプ場を含めた施設全体の供用は、平成29年4月予定）

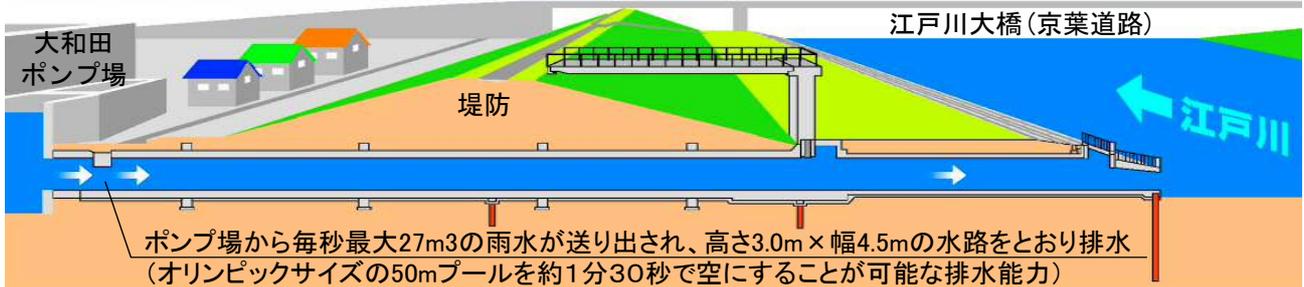
9月初旬現在、樋管本体の配筋およびコンクリート打設工事を行っており、今後は堤防盛土、ポンプ場接続部の工事などを行います。

この工事現場では、堤防を掘削した状態で作業を行います。鋼矢板二重式工法による仮締切を設置し、治水上の安全を確保しながら工事を進めています。



**大和田排水樋管の役割**

市街地に降った雨水を、堤防の下に通したコンクリート製の地下水路(樋管)から江戸川に排水します。



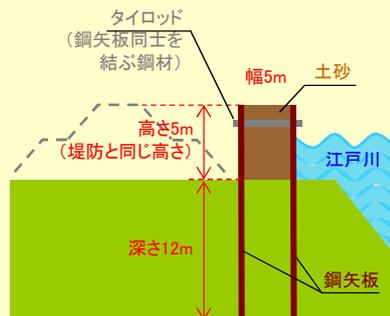
**工事現場の状況(平成27年9月初)**



**「鋼矢板二重式工法による仮締切」とは？**

鋼矢板二重式工法は、鋼製の矢板を2列配置し、矢板間に土砂を詰めた構造になっており、洪水や地震などの外力に対しても安全なものです。

この工事現場では堤防と同等以上の機能を持つ本工法により堤防掘削部を補うことで、台風到来シーズンなど洪水に注意を要する時期も工事を進めることができます。



**鋼矢板二重式工法による仮締切**



関東初

コウノトリが放鳥されました



### はばだけ！野田市からみんなの夢

平成27年7月23日に、今年誕生した3羽のコウノトリの試験放鳥が行われました。一般公募により3羽の愛称は、愛（あい）、未来（みき）、翔（しょう）に決まりました。

放鳥は、飼育施設のゲージを開けて自然に飛び立つまで待つ“ソフトリリース”で行われ、その日の夕方にゲージから飛び立ちました。

放鳥されたコウノトリには、背中にGPSを背負っており位置情報が分かるようになっていています。放鳥から約1ヶ月後には、愛ちゃんは茨城県坂東市にとどまっていますが、未来ちゃんは宮城県仙台市付近、翔くんは宮城県登米市付近いるのが確認されています。今後の動向が気になりますが、たまには野田市に帰ってきて、飛んでいる姿を見たいものです。



茨城県坂東市の愛ちゃん



宮城県仙台市の未来ちゃん



宮城県登米市の翔くん

コウノトリの最新情報は、下記の野田市HPで確認ができます。

<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/oshirase/seikatsukankyo/1006581.html>



# 綾瀬川左岸広場ラグーンで和舟進水式が行われました！

草加市松江一丁目地先の綾瀬川左岸広場のラグーンにおいて、7月12日（日）に和舟進水式が行われました。この和舟は草加松原の地元の中根町会が中心となって組織した「なかね和船の会」が制作したもので、全長約10m、幅約2m、重さ約1トン、最大搭載乗員は11名です。

「なかね和船の会」の田川会長にお聞きしたところ、「名勝指定になっている草加松原の松並木を綾瀬川の水面からぜひ見て欲しい。この舟が竿ではなく櫓で漕ぐのは、綾瀬川の川底は昔は砂だったので竿で漕いでいたが、今ではヘドロが堆積して水深が4m程度あるので竿では漕げない。」とおっしゃられていました。

11月3日（火・祝）には進水式を行ったラグーンで、この和舟に乗船できる草加市のイベントが開催されます。皆さんぜひ行ってみたいはいかがでしょうか。



綾瀬川に浮かぶ和舟「百代」

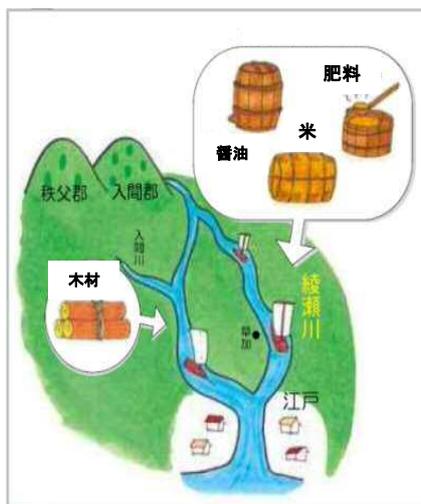


## 昔は船でにぎわった綾瀬川

綾瀬川は流れが緩やかで水の量が多かったため、交通（舟運）が栄えていました。特に江戸時代中頃（延宝8（1680年）に用水のせき止めが全て取り払われてからは、岩槻から江戸間で直通となり、江戸に米や野菜、肥料を運ぶために船がたくさん行き交い、賑わいました。しかし、盛んだった綾瀬川の舟運は、鉄道や自動車の発達によって昭和30年代後半には姿を消しました。



昔綾瀬川で見られた船の形(模型)



舟で運ばれたもの



昭和30年代



現在

現在は高速道路の下を流れ、土手はコンクリートでかためられています。

八潮市浮塚より  
内匠橋方向

## あとかき

先日の台風17号、18号では近年にない豪雨となりました。江戸川河川事務所においても行徳可動堰を約4年ぶりに開放するなど、各施設を稼働させて対応しました。今回の豪雨についての江戸川の出水速報をHPで掲載していますので、ご覧下さい。

・URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00671.html>

また、皆さんのご意見・ご質問・ご感想をお待ちしています。以下の宛先へ郵便、またはURLからメールにてお送りください。

・宛先 〒278-0005千葉県野田市宮崎134 国土交通省江戸川河川事務所 E-naだより編集室

・URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/utility/question.html>

※「E-naだより」は江戸川河川事務所及び各出張所（管理支所）で入手できるほか、江戸川河川事務所H.P. (<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00691.html>) にも掲載しています。

※このQRコードから江戸川河川事務所管内の降雨状況や水位情報などが入手できます。

